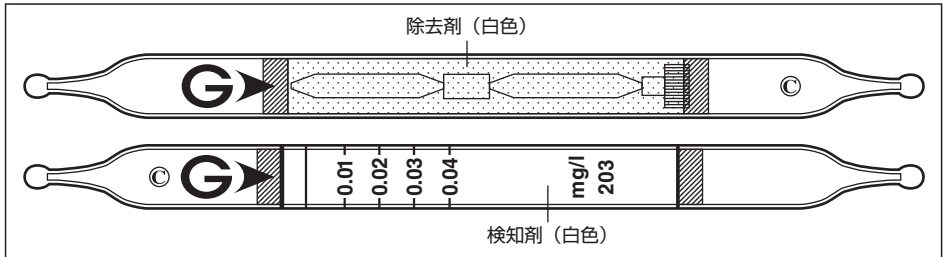


Mercury



仕 様

水中及び地質試料中の水銀を測定可能。

最低目盛 (0.005mg/l) は数値の記載が無く、実線のみで印刷してあります。

測定範囲	(0.005) ~ 0.04 mg/l
吸引回数	4回 (400ml)
係 数	1
吸引時間	6分

検知限度： 0.003 mg/l (4回吸引)

変 色： 白色 → 淡橙色

温・湿度補正： なし

有効期限： 3年

反応原理

試料溶液中の水銀は、インピンジャー中で硫酸銅、塩化すず(II)等と反応して水銀蒸気となる。水銀蒸気はよう化銅(I)と反応してよう化水銀銅を生成し、淡橙色を呈する。



干渉物質

物 質 名	共存濃度	干 渉	単独の場合
硫化物イオン S ²⁻	0.0005mg/l以上	-	変色しない ただし、高濃度の硫化物が存在して除去剤が全層茶色に変色すると検知剤が淡橙色に変色する。

硫化物イオンが0.0005mg/l以上共存する場合の測定に関しては、水銀測定セット(地質・水質調査用)(No.332)の取扱説明書参照。

校正用ガス

インピンジャー法